

平成23年度

「現代社会」 (指導と評価の年間計画)

教科 (科目)	単位数	指導学年	教科書名	副教材等
現代社会	2	3	高等学校 現代社会	最新現代社会資料集

到達目標 (学習指導要領)	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野にたつて、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
到達に向けての 具体的取組 (指導上の留意点)	教科書と副読本の活用だけでなく、新聞など時事問題を巧みに使いながら、かつ、基本的事項を確実に学習していく。また、入試問題を効果的に活用することで、受験対応もすすめる。

月	単元・教材名	指導内容	評価の方法	評価の観点
4	福島第一原発事故 現代に生きる私たちの課題	地球環境問題、資源問題 の学習	授業態度を中心に見 るのみで、点数化し ない。	基本的学習活動の習 得
5	現代の経済社会と私 たちの生活	市場経済のしくみ、政府 の経済的役割など	中間考査による評価	記述による、説明力 の獲得
6・7	現代の経済社会と私 たちの生活	金融機関のはたらき、雇 用と労働問題	期末考査による評価	センター試験対応に よる横断的理解の反 応
9・10	国際経済の動向と日 本の役割	世界の経済体制の動向 貿易の拡大と経済摩擦 発展途上国の経済と南北 問題 国際協力と国際組織の役 割	中間考査による評価	経済用語の理解、戦 後国際経済の流れの 理解
11・12	現在の民主政治	基本的人権と法の支配 日本国憲法の基本原理 平和主義と日本の安全 基本的人権の保障と新し い人権 裁判所と人権保障 国民主権と議会制民主主義	期末考査による評価	憲法の基本的事項の 理解だけでなく、現 在の社会問題への理 解を重視する